

第9回川崎病全国調査成績

厚生省川崎病研究班
(班長 川崎富作)

[連絡先] 〒329-04 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1
自治医科大学公衆衛生学教室気付
川崎病研究班疫学調査事務局
(事務連絡担当：屋代真弓、藤田委由)
TEL 0285-44-2111 (内3109)

昭和62年6月30日

はじめに

1970年に第1回川崎病全国調査が実施された。それ以来合計8回の全国調査が行なわれ、1984年12月末までの患者が把握されていたが¹⁾、今回1985年1月～1986年12月の2年間における初診患者を対象とした第9回全国調査の集計解析が完了したのでその概要を報告する。

I. 方法

第9回全国調査は1985年1月1日より1986年12月31日の2年間に小児科を併設する100床以上の病院を受診した川崎病初診患者を対象にした。調査を依頼した施設数は2,339カ所である。1984年9月に川崎病研究班は「川崎病診断の手びき」を改訂したので、前回の第8回全国調査からこの改訂版（改訂4版となった）によって症例の報告を依頼した。

第1表は「川崎病診断の手びき」の改訂の要点を示す²⁾。改訂第3版までは6項目の主要症状のうち5項目が認められる場合を川崎病として取り扱ったが、前回の第8回全国調査より患者の粹を幾分拡げて4項目のみ認められる場合でも冠動脈瘤の存在が確認されれば患者として扱うことにした。しかし、実際にはこのような症例の頻度は少なく、第8、9回全国調査で得られた症例と第7回までの全国調査で得られた症例とは本質的には殆ど差がないと考えられる。

第1表 「川崎病診断の手びき」改訂の要点

	改訂前（改訂3版）	改訂後（改訂4版）	改訂の要点
主要症状	1. 原因不明の5日以上続く発熱	1. 5日以上続く発熱	「原因不明の」を除外した
	2. 四肢末端の変化（急性期） 手足の硬性浮腫、掌蹠ないしは指趾先端の紅斑（回復期） 爪皮膚移行部からの膜様落屑	2. 四肢末端の変化（急性期） 手足の硬性浮腫、掌蹠ないしは指趾先端の紅斑（回復期） 指先からの膜様落屑	表現を簡略化した
	3. 水疱、痂皮を形成しない不定形発疹（体幹に多い）	3. 不定形発疹	「水疱、痂皮を形成しない」を除外した
	4. 両側眼球結膜の充血（一過性のことがある）	4. 両側眼球結膜の充血	() 内を除外した
	5. 口唇、口腔所見：口唇の紅潮、莓舌、口腔咽頭粘膜のびまん性発赤	5. 口唇、口腔所見：口唇の紅潮、いちご舌、口腔咽頭粘膜のびまん性発赤	「莓舌」を「いちご舌」に変えた
	6. 急性期における非化膿性頸部リンパ節腫脹（一過性のことがある）	6. 急性期における非化膿性頸部リンパ節腫脹	() 内を除外した
川崎病病状として条件	主要症状6項目中5項目以上	主要症状6項目中5項目以上。ただし4項目でも断層心エコー法もしくは心血管造影法で冠動脈瘤（いわゆる拡大も含む）が確認され、他の疾患が除外されたとき	心合併症が確認される場合、主要症状が1項目少なくてもよいとした

II. 調査結果

1. 回収率

調査を依頼した施設2,339カ所のうち、1,516施設（64.8%）から回答が得られた。報告された患者数は1985年に7,611人、1986年に12,847人の計20,458人であった。

2. 年次推移

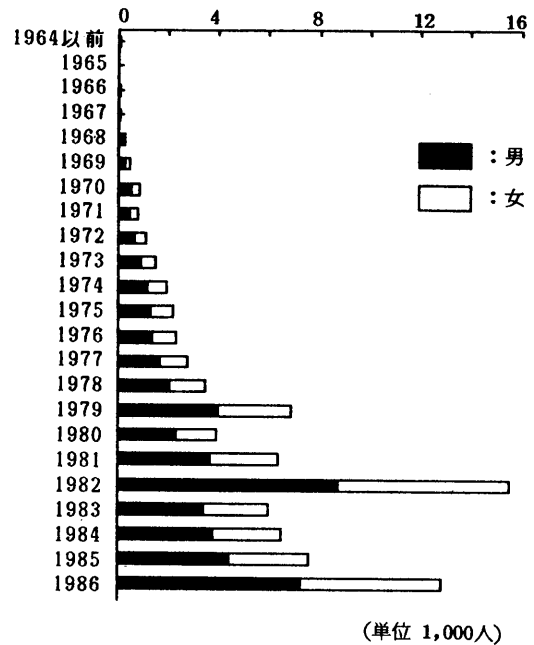
過去8回の調査で報告された患者も含めると83,857人になる。年次推移をみると、

第2表、第1図に示すように男女とも1970年ごろから患者は着実な増加傾向を示している。とくに1979年には前年の2.0倍、1982年には2.4倍、1986年には1.7倍の患者が発生し、明らかな流行と考えられた。しかし、1985年も患者数は7,000人以上で1979年の流行時の水準よりも高い値であった。

第2表 性別患者数、罹患率、致命率の年次推移（第1回～第9回全国調査）

年次	患者数			0～4歳10万対罹患率			死亡例 (致命率%)
	計	男	女	計	男	女	
～1964	88	58	30	1.1	1.4	0.8	—
1965	61	33	28	0.7	0.8	0.7	—
1966	79	49	30	1.0	1.2	0.9	—
1967	101	60	41	1.2	1.4	1.0	2 (2.0)
1968	310	177	133	3.7	4.1	3.2	6 (1.9)
1969	461	281	180	5.3	6.3	4.3	9 (2.0)
1970	887	527	360	10.1	11.8	8.4	10 (1.1)
1971	804	481	323	8.6	10.1	7.1	12 (1.5)
1972	1,135	658	477	11.9	13.4	10.3	16 (1.4)
1973	1,524	928	596	15.4	18.3	12.4	35 (2.3)
1974	1,963	1,157	806	19.6	22.4	16.6	20 (1.0)
1975	2,216	1,332	884	22.2	26.1	18.1	16 (0.7)
1976	2,337	1,406	931	23.7	27.9	19.4	16 (0.7)
1977	2,798	1,706	1,092	29.1	34.6	23.4	18 (0.6)
1978	3,459	2,064	1,395	37.4	43.5	31.0	14 (0.4)
1979	6,867	3,987	2,880	77.5	87.5	66.8	38 (0.6)
1980	3,932	2,317	1,615	45.9	53.0	38.6	8 (0.2)
1981	6,383	3,677	2,706	77.8	87.3	67.7	16 (0.3)
1982	15,519	8,762	6,757	194.7	214.2	174.1	49 (0.3)
1983	5,961	3,441	2,520	77.3	86.9	67.1	17 (0.3)
1984	6,514	3,790	2,724	85.4	96.8	73.3	19 (0.3)
1985	7,611	4,430	3,181	102.0	116.0	87.4	10 (0.1)
1986	12,847	7,249	5,598	172.2	189.8	153.8	18 (0.1)
計	83,857	48,570	35,287	42.0	47.5	36.3	349 (0.4)

第1図 年次別性別発生数
(第1回～第9回全国調査)



今回の調査で新たに28名（1985年10名、1986年18名）の死亡患者が報告され、過去の症例を合わせると合計349人になり、致命率は0.4%である。1974年ごろまでは死亡例が報告患者の1%以上を占めていたが、1975年以後低下し、1980年以後はコンスタントに0.3%前後の値を示していたが、今回の調査対象になった1985年、1986年は共に0.1%の低率になっている。

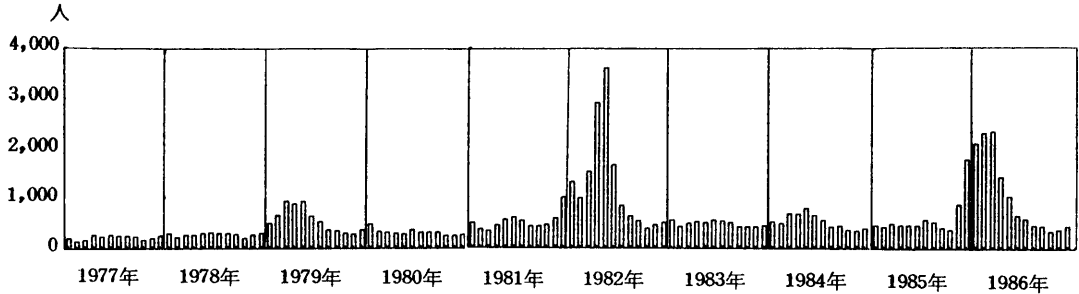
3. 性比

今回報告された2年間の患者数は男11,679人、女8,779人で、性比は1.4である。性比は過去ほぼ一定の値を維持してきたが、流行年の性比は縮小する傾向がみられる。（例：1982年、1986年は1.3である。）

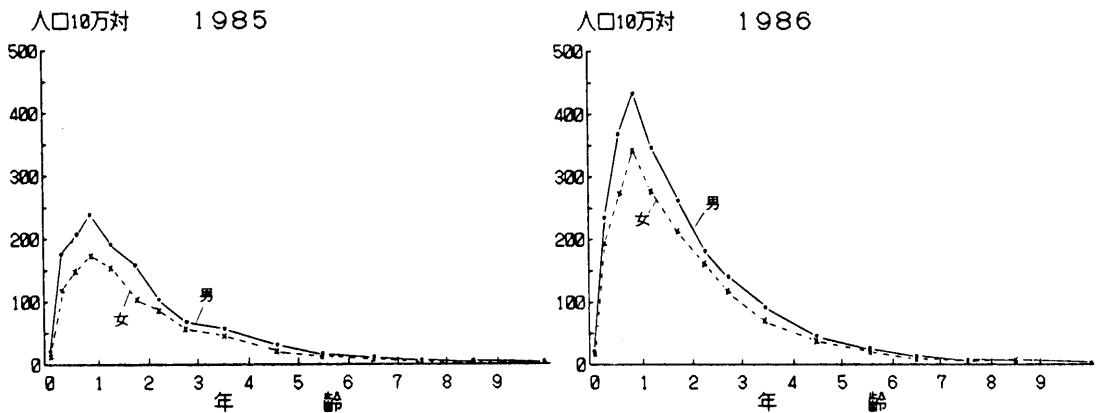
4. 月別発生

第5回全国調査から今回の第9回調査までの10年間（1977-1986年）について月別発生数をみると、第2図に示すように1979年3-5月、1981年12-1982年2月、1982年3-6月、1985年12月-1986年5月に患者数の増加がみられる。1985年12月からの増加は1982年3-6月の流行に匹敵する大規模な流行である。そのほかに1981年5-7月、1984年3-6月にも小さな山がみられる。また図には示していないが、1984年の山は東京および関東に目だっている。

第2図 年次別月別発生数（第5回～第9回全国調査）



第3図 性別年齢別罹患率（第9回全国調査）



5. 年齢別罹患率

第3図は1985年、1986年の性別年齢別罹患率（両年共人口は1985年の国勢調査人口を用いた）を示す。罹患率は9-11ヵ月にピークになり、1985年は人口10万対男238.3、女178.9、1986年は男435.5、女344.6である。両年とも1峰性のカーブを示し、4歳未満の患者は全体の85.5%を占めている。また0歳後半から1歳前半にかけて男女差が開いている。

6. 都道府県別罹患率

各年の都道府県別罹患率を0-4歳の人口10万に対する割合で計算した。

第3表に示すように、1985年には東京が最も高く225.7、次いで、千葉177.8、愛媛157.2、埼玉155.0、山梨142.0などが高い。東京を中心とする関東地方の各都県がとくに高い。1986年には、北海道307.3、宮城294.0、広島292.1、山形261.9、長野255.9などが高い。1986年の罹患率は、北海道では前年の4倍、秋田が5倍、青森、岩手、山形が3倍以上となっており、北海道、東北地方に流行の中心が移動していった。

第3表 都道府県別年次別患者数および罹患率(0-4歳人口10万対)

(第9回全国調査)

		患者数									0-4歳人口10万対罹患率		
		計			1985			1986			2年平均	1985	1986
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			
0	総数	20458	11679	8779	7611	4430	3181	12847	7249	5598	137.1	102.0	172.2
1	北海道	1331	724	607	249	152	97	1082	572	510	189.0	70.7	307.3
2	青森	284	159	125	60	40	20	224	119	105	143.7	60.7	226.7
3	岩手	205	116	89	45	23	22	160	93	67	112.8	49.5	176.0
4	宮城	596	350	246	162	103	59	434	247	187	201.9	109.8	294.0
5	秋田	224	134	90	35	24	11	189	110	79	150.7	47.1	254.4
6	山形	260	146	114	56	34	22	204	112	92	166.9	71.9	261.9
7	福島	308	163	145	94	56	38	214	107	107	109.1	66.6	151.6
8	茨城	406	234	172	143	91	52	263	143	120	113.5	80.0	147.1
9	栃木	252	133	119	75	42	33	177	91	86	101.8	60.6	143.0
10	群馬	410	236	174	143	84	59	267	152	115	171.0	119.3	222.7
11	埼玉	796	442	354	432	249	183	364	193	171	108.8	118.1	99.5
12	千葉	1177	645	532	507	284	223	670	361	309	179.9	155.0	204.8
13	東京	2336	1331	1005	1104	614	490	1232	717	515	188.1	177.8	198.5
14	茨城	1913	1109	804	1007	590	417	906	519	387	214.4	225.7	203.1
15	新潟	495	310	185	170	102	68	325	208	117	161.8	111.1	212.4
16	富山	132	76	56	50	31	19	82	45	37	104.3	79.0	129.5
17	石川	133	83	50	60	37	23	73	46	27	94.6	85.3	103.8
18	福井	124	74	50	47	28	19	77	46	31	120.4	91.3	149.5
19	山梨	131	72	59	71	38	33	60	34	26	131.0	142.0	120.0
20	長野	483	294	189	159	91	68	324	203	121	190.8	125.6	255.9
21	岐阜	337	175	162	94	52	42	243	123	120	135.6	75.6	195.5
22	静岡	507	298	209	255	147	108	252	151	101	111.0	111.7	110.4
23	愛知	975	581	394	230	143	87	745	438	307	118.9	56.1	181.8
24	三重	274	146	128	86	40	46	188	106	82	131.5	82.6	180.4
25	滋賀	152	81	71	56	25	31	96	56	40	96.9	71.4	122.4
26	京都	287	155	132	103	57	46	184	98	86	94.9	68.1	121.7
27	大阪	691	408	283	288	170	118	403	238	165	66.8	55.7	77.9
28	兵庫	679	392	287	263	149	114	416	243	173	104.6	81.0	128.2
29	奈良	142	85	57	54	29	25	88	56	32	89.1	67.8	110.4
30	和歌山	193	105	88	61	36	25	132	69	63	152.2	96.2	208.2
31	鳥取	103	54	49	42	21	21	61	33	28	130.1	106.1	154.0
32	島根	110	74	36	41	27	14	69	47	22	115.1	85.8	144.4
33	岡山	282	163	119	75	50	25	207	113	94	120.3	64.0	176.6
34	広島	675	369	306	167	100	67	508	269	239	194.1	96.0	292.1
35	山口	299	172	127	102	60	42	197	112	85	159.9	109.1	210.7
36	徳島	134	83	51	41	31	10	93	52	41	132.9	81.3	184.5
37	香川	179	101	78	58	30	28	121	71	50	147.9	95.9	200.0
38	愛媛	325	183	142	146	82	64	179	101	78	174.9	157.2	192.7
39	高松	102	57	45	39	23	16	63	34	29	104.5	79.9	129.1
40	福岡	785	432	353	282	157	125	503	275	228	127.9	91.9	163.8
41	佐賀	135	80	55	55	31	24	80	49	31	113.3	92.3	134.2
42	長門	245	149	96	86	56	30	159	93	66	114.1	80.1	148.0
43	熊本	164	96	68	81	53	28	83	43	40	68.4	67.6	69.3
44	大分	219	137	82	55	37	18	164	100	64	143.7	72.2	215.2
45	宮崎	153	78	75	67	34	33	86	44	42	94.9	83.1	106.7
46	鹿児島	114	65	49	42	24	18	72	41	31	46.7	34.4	59.0
47	沖縄	145	98	47	55	43	12	90	55	35	71.9	54.5	89.2
48	不明	56	31	25	18	10	8	38	21	17	-	-	-

※人口は1985年国勢調査人口を用いた。

7. 治療状況

治療薬剤の使用状況を前回の調査で得られた1982年～1984年の数字と比較すると、第4表に示すようにステロイド治療を受けたものは9.6%から4.5%に低下している。

アスピリン治療を受けたものは各年とも90%前後で殆ど変化がみられない。抗生物質の投与を受けたものも60%前後でほぼ一定である。γ-グロブリンの治療を受けたものは1982年にはわずか2.5%であったが、年次とともに上昇し、1986年には38.6%になっている。

第4表 治療薬剤の使用状況(%) (第8回、第9回全国調査)

	1982年	1983年	1984年	1985年	1986年
ステロイド	9.6	6.3	4.9	5.5	4.5
アスピリン	91.7	89.7	89.2	92.9	93.8
抗生物質	61.9	57.0	58.3	60.5	61.5
γ-グロブリン	2.5*	8.2	19.1	33.5	38.6

* 1982年7-12月

8. 同胞例、再発例、死亡例、心後遺症例の出現状況

1985年、1986年の2年平均で同胞例ありのものは1.8%、再発例は3.7%、死亡例は0.14%、心後遺症例は16.8%の患者にみられた。1982年以来の年次推移をみると、第5表に示すように同胞例ありの患者割合は流行年の1982年、1986年に高い。再発例の割合は逆に流行年に低い傾向がみられる。死亡例の割合は1982年の0.32%から1986年の0.14%まで順調に減少している。心後遺症の出現率（「発病1ヵ月以降に冠動脈拡大（動脈瘤を含む）、狭窄（閉塞を含む）、心筋梗塞または弁膜病変の認められること」と定義した。）は16.5%～18.0%の範囲でほぼ一定の値を示した。

第5表 同胞例、再発例、死亡例、心後遺症出現状況(%)
(第8回、第9回全国調査)

	1982年	1983年	1984年	1985年	1986年
同胞例	2.1	1.3	1.4	1.6	1.9
再発例	3.1	4.4	3.5	4.3	3.0
死亡例	0.32	0.29	0.29	0.13	0.14
心後遺症例	16.5*	16.7	18.0	16.6	17.0

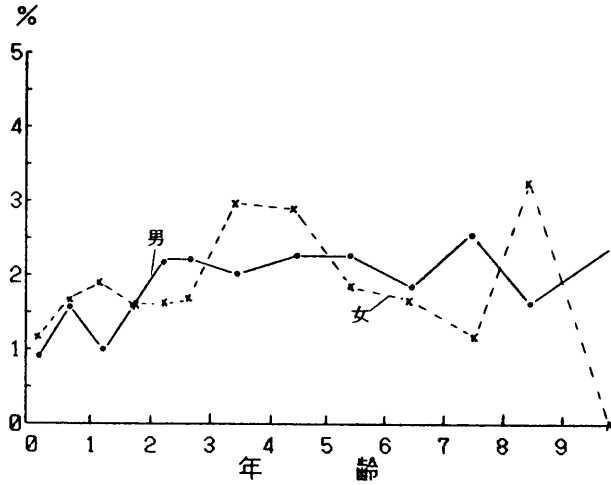
* 1982年7-12月

第4図～第5図は同胞例および再発例の割合を性年齢別にみたものである。同胞例ありの割合では性、年齢差はほとんどみられなかったが、再発例の割合は4歳以上の年齢で高く、女に比べて男がやや高い傾向がみられた。

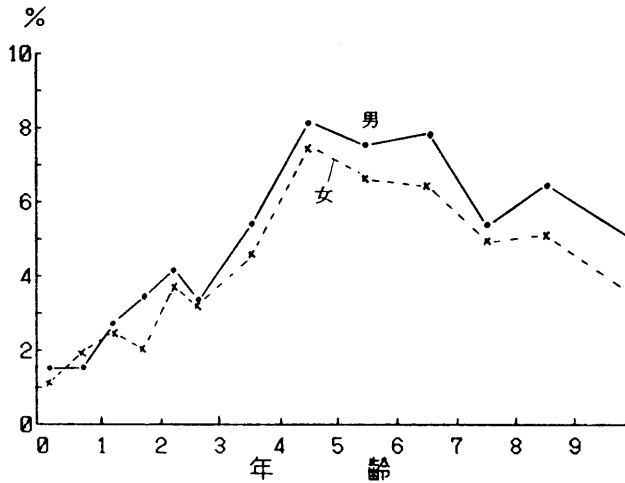
第6図は性年齢別致命率を示す。性差としては1歳、2歳で若干男が多いようであった。年齢別にみると男女とも0歳のものが最も高い。

心後遺症の出現率は第7図に示すように性別では男が女に比べて高い。年齢別では0歳のものが最も高く、年齢増加に伴って低下した後わずかに上昇の傾向がみられる。

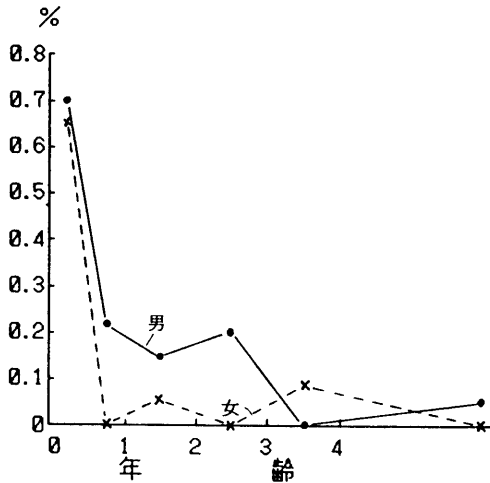
第4図 性別年齢別同胞例ありの割合（第9回全国調査、1985,1986平均）



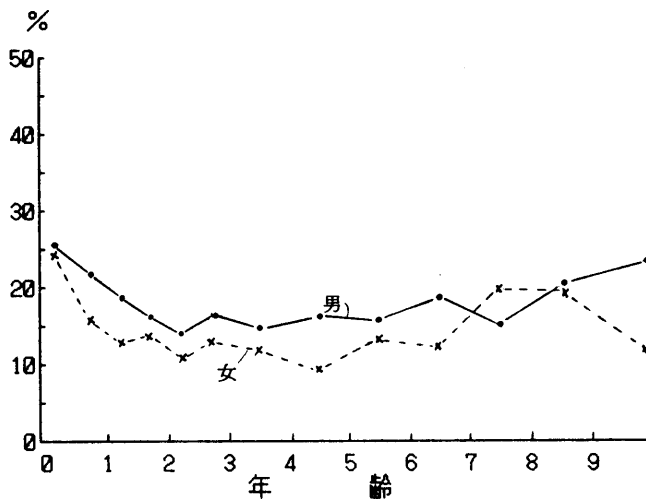
第5図 性別年齢別再発例の割合（第9回全国調査、1985,1986平均）



第6図 性別年齢別致命率（第9回全国調査、1985,1986平均）



第7図 性別年齢別心後遺症出現率（第9回全国調査、1985,1986平均）



Ⅲ. 要約

100床以上の病院で小児科を併設する2,339施設に1985年1月～1986年12月の2年間に受診した川崎病初診患者を対象に全国疫学調査を実施した結果、以下の成績を得た。

- 1 1,516施設（64.8%）より回答が得られ、報告患者数は20,458人（1985年7,611人、1986年12,847人）であった。
- 2 1985年12月～1986年5月にかけて大規模な流行がみられた。流行は関東地方からはじまり、周辺に広がった。
- 3 年齢別罹患率は0歳後半から1歳にかけて1峰性のピークを有する曲線で、4歳未満の患者が全体の85.5%を占める。男女比は1.4である。
- 4 γ -グロブリンの治療を受けるものの割合が年次とともに増加し、1986年には38.6%になっている。
- 5 2年平均の同胞例ありの割合は1.8%、再発例3.7%、死亡例0.14%、心後遺症例16.8%であった。

おわりに

第1回全国調査以来終始変わらぬご協力を賜った関係医療機関の各位に対し、本研究班として深く感謝します。（今回の調査にご協力いただいた全国1,516施設の医療機関名を巻末に付記します。）

なお、今回の調査で報告された症例を含めた合計83,857人の成績を総括し、全例に関する基本集計表を作成して関係雑誌に公表する予定です。

文献

- 1) 柳川洋：川崎病の全国調査成績、川崎病疫学データのすべて（日本心臓財団川崎病原因究明委員会編）、P.37-51、ソフトサイエンス社、東京、1986。
- 2) 厚生省川崎病研究班：第8回川崎病全国調査成績、小児科、26(9)：1049-1052,1985。

☆ 協力施設一覧表(1516施設)

国療西札幌病院 国立函館病院 国立札幌病院 国立療養所道北病院 北大医学部附属病院 札幌鉄道病院 札幌通信病院 札幌医科大学附属病院 道立札幌肢体不自由児総合療育センター 旭川肢体不自由児総合療育センター 道立羽幌病院 市立札幌病院 市立函館病院 市立江別総合病院 千歳市立総合病院 市立三笠総合病院 国民健康保険町立栗沢病院 若見沢市立総合病院 市立美瑛病院 歌志内市立病院 市立芦別病院 深川市立総合病院 上川町立病院 美瑛町立病院 名寄市立総合病院 北松山町立国民健康保険市立室蘭総合病院 白老町立国民健康保険市立平取町国民健康保険病院 町立茅室病院 市立網走総合病院 市立根室病院 町立中標津病院 町立別海病院 美幌町立国民健康保険院 北海道厚生農業協同組合連合会上湧別厚生病院 函館赤十字病院 総合病院旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 総合病院浦河赤十字病院 清水赤十字病院 小清水赤十字病院 小樽病院 函館病院 富良野病院 社会事業協会・帯広総合病院 札幌厚生病院 旭川厚生病院 倶知安厚生病院 帯広厚生病院 網走厚生病院 総合病院遠軽厚生病院 札幌第1病院 (医療) 敬仁会渡島病院 (医療) 聖仁会森病院 新日本製鉄室蘭製鉄所病院 日鋼記念病院 王子総合病院 大平炭炭礦株式会社大平洋病院 津別病院 (社福) 函館厚生院函館五稜郭病院 共愛会病院 天使病院 勤労者医療協会札幌病院 井上病院 幌東病院 (医社) 仁生会西郷病院 大原病院 陸上自衛隊札幌地区病院 幌南病院 (社福) 真宗協会帯広光南病院 西村病院 今金町国民健康保険病院 旭川医科大学医学部附属病院 北海道療育園 勤医協中央病院 旭川第1内科病院 恵愛病院 使徒ルカ会手稲ルカ病院 道立小児総合保健センター 長生会病院 (医療) 弘仁会中央病院 労働福祉事業団美瑛労災病院 新雨竜病院 (医療) 道北勤医協一条通病院 (医療) 室蘭大平洋病院 労働福祉事業団網走労災病院 町立厚岸病院 小島病院 国療美幌病院 町立八雲病院 医療法人社団刀圭会協立病院 総合病院函館中央病院

国立弘前病院 弘前大学医学部附属病院 青森県立中央病院 青森市民病院 八戸市立市民病院 黒石市国保黒石病院 五所川原市立西北中央病院 公立金木病院 鎌ヶ沢町立中央病院 十和田市立中央病院 総合むつ病院 国保三戸中央病院 八戸赤十字病院 (医療) 同仁会浪打病院 国立療養所八戸病院 国保大畑病院 市立三沢病院 (医療) 慈仁会尾野病院 弘前市立病院 国保平賀病院 (医療) 芙蓉会三峯病院 村上病院 青森労災病院

岩手県立益石病院 岩手県立宮古病院 岩手県立胆沢病院 岩手県立磐井病院 岩手県立高田病院 岩手県立大船渡病院 岩手県立福岡病院 岩手県立一戸病院 岩手県立江刺病院 盛岡市立病院 釜石市民病院 盛岡赤十字病院 北上済生会病院 (財) 総合花巻病院 (医療) 一関病院 国療釜石病院 岩手県立山田病院 岩手県立北上病院 国療岩手病院 (医療) 久仁会内丸病院 川久保病院 松園病院 国保葛巻病院 岩手県立遠野病院 滝民中央病院 財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院

国立仙台病院 国療宮城病院 東北大学医学部附属病院 東北大学病院 鳴子分院 仙台通信病院 総合病院仙台市立病院 塩釜市立病院 古川市立病院 公立気仙沼総合病院 公立志津川総合病院 公立刈田総合病院 町立大河原病院 総合病院仙台赤十字病院 石巻赤十字病院 東北厚生年金病院 東北公済病院 (財) 厚生会仙台厚生病院 (財) 宮城厚生協会坂総合病院 (医療) 仙南病院 (医療) 金上仁友会金上病院 国療西多賀病院 仙台社保病院 宮城健康保健病院 (医療) 仙南中央病院 陸上自衛隊仙台地区病院 仙塩病院 東北大学抗酸菌研究所附属病院 東北通信病院 (財) 宮城厚生協会長町病院 宮城県豊枝不忘学園 (財) 仙台循環器病センター 南浜中央病院

大館市立総合病院 男鹿市立総合病院 市立秋田総合病院 公立角館総合病院 公立横手病院 秋田赤十字病院 鹿角総合総合病院 厚生連山本総合総合病院 湖東総合病院 秋田組合総合病院 由利組合総合病院 仙北組合総合病院 雄勝中央病院 (医療) 明和会中通病院 (医療) 運志会土崎病院 公立米内沢総合病院 町立羽後病院 秋田大学病院 秋田県太平療育園 藤原記念病院 国療秋田病院

山形県立中央病院 山形県立新庄病院 天童市立病院 山形市立病院 済生館 北村山公立病院 市立酒田病院 鶴岡市立荘内病院 南陽市立総合病院 公立高島病院 小国町立病院 米沢市立病院 山形県立河北病院 山形大学病院 鶴岡協立病院 遊佐病院 国療山形病院

国立郡山病院 福島県立医科大学附属病院 福島県立三春病院 福島県立会津総合病院 公立藤田総合病院 公立若瀨病院 いわき市立総合磐城共立病院 いわき市立常磐病院 国保原町市立病院 福島赤十字病院 福島県厚生農業協連環厚生病院 福島県厚生農業協連坂下厚生総合病院 (財) 大原総合病院 (財) 太田総合病院付属熱海総合病院 (財) 寿泉堂総合病院 (財) 竹田総合病院 (財) 穴沢病院 (財) 竹林病院 (医療) 小野田病院 福島整肢療護園 国療福島病院 (財) 仁泉会医学研究所所原中央病院 (財) 星総合病院 松村総合病院 (医療) 保科病院 (医療) 土屋病院 (社医) 羽野総合病院 谷病院 済生会川俣病院 国立療養所翠ヶ丘病院 中村病院 医療生協わたり病院 本多記念東北循環器科病院 医療法人昨雲会飯塚病院 東北病院

国立水戸病院 国立霞ヶ浦病院 茨城県立中央病院 水戸済生会総合病院 波崎済生会病院 総合病院水戸協同病院 総合病院土浦協同病院 (医療) 保内郷厚生会保内郷病院 総合病院東京医科大学病院霞ヶ浦病院 株式会社日立製作所多賀総合病院 株式会社日立製作所水戸病院 県西総合病院 (財) 鹿島病院 (医療) 渡辺会大洗海洋病院 (医療) 誠之会誠之会病院 筑波大学病院 茨城赤十字病院 茨城県立コロナーあすなろ病院 (医療) 住古クリニック病院 (医療) 委正会田尻ヶ丘病院 日立港病院 社団常仁会牛久愛知病院 (財) 筑波学園病院 城西病院 茨城協同病院 北茨城市立病院

国立栃木病院 小山市民病院 栃木県南総合病院 大田原赤十字病院 栃木県済生会宇都宮病院 石橋病院 佐野厚生総合病院 宇都宮社会保険病院 下都賀郡市医師会病院 古河日光総合病院 (医療) 博愛会菅間病院 国療足利病院 国立宇都宮療養所 自治医科大学附属病院 獨協医科大学病院 (医療) 十全会上野病院 山辺今井病院 (医療) 明倫会今市病院 (医療) 薫会菅又病院 白澤病院 那須中央病院

国立高崎病院 国立沼田病院 群馬大学医学部総合病院 群馬県立がんセンター 東毛病院 桐生厚生総合病院 碓氷病院 伊勢崎市市民病院 邑楽館林医療事務組合館林厚生病院 前橋赤十字病院 原町赤十字病院 富岡厚生病院 社保群馬中央総合病院 総合太田病院 利根中央病院 伊勢崎福島病院 榛名荘病院 (医療) 原病院 群馬県済生会前橋病院 前橋協立病院 二之沢病院 重症心身障害児施設はんなさわらび学園 (医療) 高木会高木病院 希望の家療育病院

蕨市立病院 川口市国保川口市市民病院 春日部市立病院 華加市立病院 大宮赤十字病院 小川赤十字病院 深谷赤十字病院 埼玉県済生会川口総合病院 埼玉厚生農業協連熊谷総合病院 川口工業総合病院 (財) 鳩ヶ谷中央病院 戸田中央総合病院 (医療) 啓明会中島病院 (医療) 健仁会益子病院 (医療) 愛生会病院 (医療) 丸山記念総合病院 (医療) 橋会館能中央病院 埼玉医科大学附属病院 埼玉厚生連幸手総合病院 (医社) 新座志木中央病院 吉川中央病院 (医法) 社団武蔵野会 朝霞台中央病院 中村病院 (医財) 明理会鶴瀬病院 防衛医科大学校病院 西部病院 (医社) 東光会戸田中央産院 埼玉中央医療生協埼玉協同病院 埼玉県立ガンセンター 大宮市医師会市民病院 菅野総合病院 (医療) 武蔵野総合病院 埼玉県立寄居保養所 (医療) 光仁会春日部厚生病院 (医療) 仁愛会東埼玉病院 秋谷病院 (医療) 三愛会グリーン病院 医療法人社団協友会東川口病院 埼玉医療生活協同組合羽生病院 春日部秀和病院 越谷誠和病院 医療法人財団健和会みさと健和病院

国立千葉病院 国立国府台病院 国療下志津病院 国立習志野病院 千葉大学病院 千葉県立佐原病院 千葉県立東金病院 千葉県立鶴舞病院 浦安市市川市病院組合葛南病院 国保松戸市立病院 総合病院国保旭中央病院 国保市立病院 国保国古病院 国保直宮総合病院 君津中央病院 国保成東病院 成田赤十字病院 社保船橋中央病院 川崎健保組合千葉病院 九十九里ホーム病院 (医療)

蘇我病院 (医療) 鉄道倉庫川総合病院 東京歯科大学市川病院 安房医学会病院 (医療) 心会八千代病院 国療千葉東病院 藤立病院 医療法人社団潮仁会我孫子中央病院 千葉県千葉市川市立病院 (医財) 明理会付属新松戸中央病院 国立佐倉病院 (医社) 潮仁会白井中央病院 (医療) 三矢会両総病院 (医療) 公明会塩田病院 (医療) 鎌田病院 (医法) 成春会北習志野花輪病院 (医社) 勤労者医協船橋二和病院 東邦総合病院 船橋病院 国立柏原病院 柏原厚生病院 津田沼中央病院 千葉市立海浜病院 順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院 新八柱台病院 医療法人川崎病院 船橋市立医療センター 医療法人社団保健会谷津保健病院
 国立がんセンター 国立病院医療センター 国立小児病院国立大蔵病院 国立東京第二病院 国療中野病院 国立王子病院 国立立川病院 東京大学病院分院 東京大学病院 東京医科歯科大学病院 東京専売病院 関東通信病院 中央鉄道病院 東京通信病院 自衛隊中央病院 東京都立築地産院 都立大久保病院 都立墨東病院 都立荏原病院 都立広尾病院 都立北療育医療センター 都立豊島病院 青梅市立総合病院 町田市民病院 大森赤十字病院 日本赤十字社医療センター 葛飾赤十字産院 武蔵野赤十字病院 東京都済生会中央病院 東京都国保団体連合会福生病院 社保中央総合病院 社保都南総合病院 社保蒲田総合病院 東京厚生年金病院 東京船員保険病院 日本通運健保東京病院 国公共済連九段坂病院 虎の門病院 国公共済連三宿病院 東京総合病院 公立学校共済組合関東中央病院 国家公務員共済組合連合会立川病院 東京警察病院 (社) 都教職員互助会三菜病院 (社) 北里研究所病院 永寿総合病院 (財) 日産厚生会玉川病院 (財) 愛生会愛誠病院 (財) 練馬総合病院 (財) 仁和会総合病院 園分寺病院 緑成会病院 (医財) 寿康会病院 (医社) 江東病院 (医財) 仁会会牧田総合病院 田園調布中央総合病院 (医財) 河北総合病院 (医社) 大成会長汐病院 (医社) 慈誠会上板橋病院 (医) 西新井病院 堀切中央病院 同愛会病院 若井総合病院 府中医王病院 立川中央病院 杏林大学病院 (医療) 田無病院 日本医科大学第一病院 東京慈恵会医科大学病院 東京女子医科大学病院 慶応義塾大学病院 東京医科大学病院 日本医科大学病院 昭和大学病院 東邦大学大橋病院 東邦大学大森病院 東京女子医科大学第二病院 日本大学附属板橋病院 慈恵医科大学附属病院第3分院 東京電力病院 小平記念東京日立病院 東芝中央病院 三井記念病院 母子愛育会総合母子保健センター 愛育医院 (社福) 聖母会聖母病院 (社福) 賢育会賢育会病院 (社福) 同愛記念病院 (社福) あそか会あそか病院 (社福) 應和会久我山病院 立正佼成会附属佼成病院 東京衛生病院 (社福) 新栄会津野川病院 尾竹橋病院 (社福) 勝栄堂病院 (社福) 日本心身障害者協会島田療育園 (社福) 東京都同胞援助会昭島病院 (社福) 多摩済生病院 綾瀬病院 西荻病院 青山病院 (医財) 健康文化会小豆沢病院 (医療) 清恵会藤原病院 総合病院下田病院 博島病院 森本病院 都立府中病院 板橋区医師会病院 (医療) 大田病院 中野共立病院 府中恵仁会病院 (医財) 竹丘病院 帝京大学病院 誠志会病院 西武中央病院 東京警察病院多摩分院 日本医科大学多摩永山病院 (財) 老人病研究所博慈会記念病院 (財) 秋津療育園 (社福) 聖ヨハネ会桜町病院 都立八王子小児病院 (医社) 愛育会協和病院 東京健生病院 東京都立台東病院 (医社) 鎌倉会浅草病院 山田病院 昭和大学付属豊洲病院 (医財) 東京厚生会大森記念病院 西荻中央病院 東京都立荒川産院 (医社) 米寿会附属板橋中央産院 (医社) 水野病院 目白第三病院 八王子山王病院 東光会戸田中央総合病院分院第一病院 国立武蔵療養所 江藤病院 社会保険都南総合病院 医療法人財団小林記念会 城南総合病院附属第二病院 東京都立北療育医療センター 医療法人社団健生会立川相互病院
 国立横浜病院 国立横須賀病院 国療神奈川病院 神奈川県立足柄上病院 横浜市立港灣病院 横浜市立大学病院 横浜市立市民病院 川崎市立川崎病院 平塚市民病院 茅ヶ崎市立病院 小田原市立病院 三浦市立病院 大和市立病院 横浜赤十字病院 津久井赤十字病院 済生会神奈川県病院 神奈川県厚生農協連相模原協同病院 社保横浜中央病院 健保組合川崎中央病院 社保相模野病院 横浜船員保険病院 住友重機工業浦賀健保組合浦賀病院 横浜南共済病院 国公共済連総合病院横須賀共済病院 国公共済連稲田登戸病院 田浦共済病院 (財) 神奈川県警友会警友総合病院 聖マリアンナ医科大学東横病院 (医財) 慈啓会大口東横総合病院 (医療) 柏堤会戸塚共立病院 (医療) 平和会平和病院 (医療) 育成会鹿島田病院 (医社) 育成社佐々木病院 (医社) 愛成会京浜総合病院 (医療) 愛仁会太田総合病院 (医社) 亮正会総合高津中央病院 総合病院大船中央病院 (医社) 相和会湖野辺病院 日本医科大学附属第二病院 三菱重工業大倉山病院 日立製作所戸塚総合病院 (社福) 国際親善総合病院 総合病院聖ヨゼフ病院 (社福) 湘南福祉協会総合病院湘南病院 横浜市老人リハビリテーション友愛病院 国立横浜東病院 関東労災病院 横浜市小児アレルギーセンター 総合病院兼野赤十字病院 伊勢原協同病院 (社団) 日本厚生団長津田厚生総合病院 横浜通信病院 神奈川県立子ども医療センター 藤沢市民病院 (医療) 養生院清川病院 (医療) 同愛会小沢病院 (医療) 小林病院昭和大学藤ヶ丘病院 聖マリアンナ医科大学病院 東海大学医学部病院 北里大学病院 帝京大学医学部附属溝口病院 川崎協同病院 (医療) 興生会相模台病院 神奈川リハビリテーション病院 (医社) 黄十字会鈴木病院 恩賜財団済生会横浜市南部病院 神奈川県衛生看護専門学校附属病院 (医社) 青葉会牧野記念病院 社団明芳新戸塚病院 川崎市立井田病院 小児げん息センター 横須賀市立市民病院 (医療) 大船病院 (医社) 鎌倉会新相模原病院 (医療) 徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院 多摩川病院 若葉台南病院 金沢文庫病院 医療法人仁愛会海老名総合病院相武台病院
 国立療養所新潟病院 国立高田病院 新潟大学病院 新潟県立ガンセンター新潟病院 新潟県立新発田病院 新潟県立吉田病院 新潟県立十日町病院 新潟県立中央病院 水原厚生病院 巻町立国保病院 長岡赤十字病院 新潟県済生会新潟総合病院 新潟県済生会三条病院 豊栄病院 中央総合病院 刈羽郡総合病院 新潟県厚生農協連上越総合病院 新潟県厚生農協組合連類南病院 小千谷総合病院 (財) 上村病院 (医療) 立川総合病院 新潟市民病院 (医療) 敬愛会末広橋病院 (医療) 愛仁会亀田第一病院 (社福) 聖園病院 新潟南病院 新潟医療生協木戸病院新潟こぼり病院 (医社) 真仁会南部郷総合病院 両津市民病院 労働福祉事業団新潟労災病院 国立厚済療養所 新潟県はまぐみ小児療育センター 新津医療生活協同組合新津医療センター病院 国立療養所寺泊病院 国民健康保険町立ゆきぐに大和総合病院 新潟県立坂町病院
 富山県立中央病院 黒部市民病院 上市厚生病院 新湊市民病院 市立磯波総合病院 富山赤十字病院 厚生連高岡病院 農協清川病院 社会保険高岡病院 国療北陸病院 水見市民病院 井波厚生病院 富山医科薬科大学医学部 朝日町立泊病院
 国立山手病院 金沢大学病院 石川県立中央病院 金沢市立病院 国保市立小松総合病院 公立加賀中央病院 町立富来病院 国保輪島病院 金沢赤十字病院 済生会石川総合病院 公立石川中央病院 公立鶴来総合病院 社保鳴和総合病院 国公共済連北陸病院 金沢聖霊総合病院 恵寿総合病院 蓮井小児科病院 浅小川総合病院 国療医王病院 国保珠市川総合病院 城川病院 金沢医科大学病院 金沢西病院 国療七尾病院国療石川病院 公立水総合病院 公立宇津総合病院
 国立療養所福井病院 福井県立病院 市立敦賀病院 公立小浜病院 福井赤十字病院 社保勝山病院 (医療) 安川病院 (医療) 林病院 総合病院 (財) 福井病院 笠原病院 福井循環器病院 (医療) 福井愛育病院 中村病院 医療法人福仁会病院
 山梨県立中央病院 韮崎国保韮崎市立病院 須玉町外一村病院組合塩川病院 国保富士吉田市立病院 社保織沢病院 山梨労働医療協会巨摩共立病院 (医療) 加納岩総合病院 国療西甲府病院 甲府共立病院 (財) 山梨厚生会山梨療養所 上野原町立病院 山梨県立あけぼの医療福祉センター 山梨医科大学 市川大門町立病院 石和町国民健康保険峡東病院
 国立東信病院 国立松本市病院 国療東長野病院 信州大学病院 長野県立阿南病院 長野県立木曾病院 長野県立須坂病院 佐久町立千曲病院諏訪中央病院 市立岡谷病院 伊那中央総合病院 市立大町総合病院 諏訪赤十字病院 下伊那赤十字病院 総合病院豊科赤十字病院 長野赤十字病院 飯山赤十字病院 長野県厚生農協連佐久総合病院 長野県厚生農協連安曇病院 長野県厚生農協連北信総合病院 長野県厚生農協連新町病院 (医療) 長野中央病院 小島病院 佐久市立国保浅間総合病院 国療東松本病院 昭和伊南総合

病院 (医療) 丸子中央病院 町管辰野総合病院 飯田市立病院 (医療) 城西病院 小樽赤十字病院 (医療) 健教会柳沢病院 信濃医療福祉センター 長野県厚生農業組合連合会富士見高原病院 医療法人心泉会上條記念病院

国康長良病院 国康恵那病院 岐阜県立岐阜病院 岐阜県立多治見病院 岐阜市民病院 羽島市民病院 国保関ヶ原病院 大垣市民病院 国保土岐市中央病院 総合病院土岐市民病院 総合病院中津川市民病院 総合病院中津川市民病院 金山町国保病院 総合病院高山赤十字病院 岐阜県厚生農協連養老中央病院 岐阜県厚生農協連斐鉢総合病院 岐阜県厚生農協連総合病院 中濃病院 健保東濃病院 東海中央病院 郡上広域行政事務組合郡上中央病院 (医療) 博愛会病院 (医療) 新生会八幡病院 岐阜大学医学部附属病院 岐阜県立下田温泉病院 国保神岡町病院 (医社) 誠広会平野総合病院 (医療) 蘇西厚生会松波病院 国保坂下病院 岐阜赤十字病院

国立静岡病院 国立熱海病院 国立東静岡病院 国立浜松病院 国康天竜病院 伊豆通信病院 静岡県立総合病院 沼津市立病院 富士市立中央病院 市立富士宮総合病院 清水市立清水総合病院 共立蒲原総合病院 藤枝市立志太総合病院 掛川市立総合病院 菊川町ほか4町共立菊川病院組合共立菊川病院 公立森町病院 磐田市立総合病院 袋井市立袋井市民病院 湖西総合病院 総合病院静岡赤十字病院 伊豆赤十字病院 中駿赤十字病院 総合病院浜松赤十字病院 静岡県済生会病院 総合病院静岡厚生病院 総合病院清水厚生病院 遠州総合病院 県西部浜松医療センター 順天堂伊豆長岡病院 (社福) 聖隷福祉事業団総合病院 聖隷三方原病院 市立島田市民病院 静岡県立こども病院 国康静岡東病院 浜松労災病院 (医療) 芙蓉協会聖隷沼津病院 社保桜ヶ丘総合病院 引佐赤十字病院 社会保険浜松病院 浜松北病院

国立名古屋病院 国立豊橋病院 国康中部病院 名古屋大学病院 名古屋通信病院 名古屋市立東市民病院 名古屋市立城北病院 名古屋市立城西病院 名古屋市立大学病院 名古屋市立守山市民病院 豊橋市民病院 市立岡崎病院 一宮市立市民病院今伊勢病院 市立半田病院 小牧市民病院 豊川市民病院 津島市民病院 公立尾陽病院 西尾市民病院 蒲郡市民病院 福沢市民病院 常滑市民病院 新城市民病院 名古屋第一赤十字病院 名古屋第二赤十字病院 愛知県厚生農協連海南病院 愛知県厚生農協連更生病院 社保中央病院 豊和病院 国公共済東海病院 国公共済連名城病院 名古屋掖済会病院 (財) 東海厚生協会塩港病院 (医療) 立寺病院 (医療) 善常会岡田病院 鳴海病院 (医療) 総合大雄会病院 刈谷総合病院 (医療) 光生会病院 三菱名古屋病院 (医療) 宏調会大同病院 (社福) 聖豊会聖豊病院 (医療) 三九朗病院 蒲郡厚生館病院 国康東名古屋病院 名古屋市立緑市民病院 東海産小牧医療団中央病院 (医療) 清水会相生山病院 中部労災病院 日本電信電話(株)東海通信病院 南生協病院 (医療) 愛生会小牧第一病院 (学校) 藤田学園保健衛生大学病院 愛知医科大学病院 愛知県心身障害者ユニオン中央病院 (医療) 杏園会伊藤病院 みなと医療生協協立病院 (医療) 宏和会浅井病院 (医療) 宝美会青山病院 (医療) 志聖会犬山中央病院 愛知県厚生農協連尾西病院 (医療) 済東館病院 愛知県厚生農協連知多厚生病院 小幡病院

国康鈴鹿病院 国立津病院 三重県立総合塩浜病院 三重大学病院 桑名市民病院 市立四日市病院 松阪市民病院 市立伊勢総合病院 上野総合市民病院 尾鷲総合病院 山田赤十字病院 (恩賜財団) 済生会松阪病院 三重県厚生農協連中勢総合病院 三重県厚生農協連松阪中央病院社保羽津病院 山本総合病院 (医療) 飯田病院 (医療) 富田浜病院 (医療) 博仁会村瀬病院 国康三重病院 慶応大学伊勢慶応病院 津生協病院 (医療) 大西病院

大津赤十字病院 大津市民病院 水口町国保水口市民病院 公立甲賀病院 近江八幡市民病院 彦根市立病院 市立長浜病院 公立湖北総合病院 郡上高島病院 長浜赤十字病院 (社福) 恩賜財団済生会滋賀県病院 総合病院健康保険滋賀病院 (社福) 第二びわこ学園 国立八日市病院 守山市民病院 滋賀医科大学病院 国康兼善病院 琵琶湖大橋病院

京都大学病院 京都専売病院 京都府立医科大学病院 京都市立病院 公立南丹病院 市立舞鶴市民病院 京都第二赤十字病院 京都第一赤十字病院 舞鶴赤十字病院 健保鞍馬口病院 舞鶴共済病院 総合病院日本パテテスト病院 (社) 愛生会山科病院 (医療) 西陣健康会堀川病院富田病院 洛和会九大病院 三菱京都病院 西京都病院 国康宇多野病院 京都通信病院 (社福) 京都保健会古京病院 ユニチカ中央病院 京都社会事業財団京都桂病院 関西医科大学男山病院 公立山城病院 (社福) 聖ヨゼフ会聖ヨゼフ整肢園 (医療) 蘇病院蘇生会病院 総合病院医仁会武田病院 関西医科大学附属洛西ニュータウン病院 (医療) 宇治徳洲会病院 武田病院 弥栄会国民健康保険病院

国立大阪病院 国立大阪南病院 大阪通信病院 大阪鉄道病院 大阪府立病院 大阪市立北市民病院 大阪市立桃山市民病院 大阪市立城北市民病院 大阪市立住吉市民病院 市立堺病院 市立池田病院 市立吹田市民病院 東大阪市立中央病院 泉大津市立病院 市立岸和田市民病院 大阪赤十字病院 (社福) 恩賜財団済生会野江病院 大阪府済生会吹田病院 大阪厚生年金病院 大阪船員保険病院 国公共連大手前病院 (財) 附興風会北野病院 (財) 住友病院 大阪掖済会病院 (財) 聖バルナバ病院 (社福) 石井記念愛染園愛染橋病院 (財) 第一病院 (労働衛生センター) (財) 西淀病院 (医療) ガラシア病院 (医療) きっこう会総合病院多根病院 (医療) 彰康会大正病院 (医療) 総合病院南大阪病院 (医療) 幸栄会正和病院 (医療) 間に会耳原総合病院 (医療) 杏林会金岡病院 (医療) 宝生会PL病院 (医療) 生長会府中病院 大阪医科大学病院 関西医科大学香里病院 関西医科大学病院 関西電力病院 (社福) 四天王寺福祉事業団天王寺病院 大阪回生病院 淀川キリスト教病院 (財) 新千里病院 (医療) 實和会生野中央病院 (医療) 真美会中野小児病院 (医療) 寺西報恩会長吉総合病院 渡辺病院 大阪赤十字病院附属大手前整肢学園 大阪第二警察病院 (財) 春木病院 (医療) 協和会加納病院 (医療) 仙養会総合病院北摂病院 (医療) 有恵会沢総合病院 国立東北病院 大阪労災病院 国立循環器病センター 大阪北通信病院 市立松原病院 和泉市立病院 高槻赤十字病院 星ヶ丘厚生年金病院 (医療) 清恵会病院 岸和田徳洲会病院 (医療) 丸山会八戸の里病院 (社福) 枚方療育園 近畿大学病院 上二病院 (社福) 大阪社会医療センター病院 富田林病院 (医療) 利田会久米田病院 大阪府立羽曳野病院 (財) 結核予防会大阪府支部大阪病院 貴島中央病院 (医療) 公道会病院 (医社) 誠会城東中央病院 (医療) 協和会北大阪病院 (医療) 錦秀会阪和泉北病院 (医療) 以和貴会北条病院 大阪府立身体障害者福祉センター病院 箕面市立病院 中路病院 友社会病院 (医療) 修仁会修仁会病院 (医療) 祐生会みどりヶ丘病院 (医療) 協仁会小松病院 東大阪医療生協東大阪生協病院 大阪府立母子保健総合医療センター 公立尾崎病院 東北記念病院 恵生会病院 医療法人愛仁会理労診療科病院 医療法人康生会泉佐野優人会病院

国立姫路病院 国康兵庫中央病院 神戸大学病院 関西労災病院 兵庫県立尼崎病院 兵庫県立西宮病院 神戸市立中央市民病院 明石市立市民病院 市立三木市民病院 西宮市立中央病院 加古川市民病院 市立川西病院 公立八鹿病院 公立御津病院 高砂市民病院 赤穂市民病院 市立芦屋病院 三田市民病院 姫路赤十字病院 柏原赤十字病院 社保神戸中央病院 国公共済連六甲病院 公学共済近畿中央病院 (財) 甲南病院 神戸海星病院 (医療) 川崎病院 (医療) 兼誠会杉安病院 (医療) 明和病院 総合病院神鋼病院 三菱神戸病院 石川島播磨重工業健康組合健康組合播磨病院 神戸市立西市民病院 公立香住病院 神戸赤十字病院 (医療) 愛和会金沢瀬病院 砂子療育園 神戸通信病院 兵庫県立こども病院 公立社病院 (医療) 楠南会公文病院 兵庫医科大学病院 (医療) 尚和会第一病院 (医療) 姫路聖マリア病院 尼崎医療生協尼崎医療生協病院 (医療) 協和会協立病院 国立加古川病院 神鋼加古川病院 私立吉川病院 国立青野原病院 兵庫県立柏原病院 東神戸病院 国立神戸病院 兵庫県立のじき療育センター 市立加西病院

国立奈良病院 奈良県立医科大学病院 大和高田市立病院 (社福) 済生会奈良病院 社保大和郡山総合病院 (財) 天理よろず相談所病院 国康西奈良病院 奈良県国保連合会生駒総合病院 奈良県立奈良病院 奈良県立五条病院 (医療) 湖池会秋津湖池病院 奈良県立三室病院 医仁会香芝中央病院 社会福祉法人恩賜財団済生会御所病院

和歌山県立医科大学病院 和歌山県立医科大学病院紀北病院 国保那賀病院 国保橋本市民病院 有田市立病院 国保日高総合病院 社保紀南総合病院 総合病院新宮市立市民病院 和歌山赤十字病院 済生会有田病院 (医療)久仁会宇都宮青陽山門病院 国療和歌山病院 那智勝浦町立温泉病院 和歌山労災病院

鳥取県立中央病院 鳥取県立中央病院 鳥取県立厚生病院 鳥取市立病院 国保智頭病院 鳥取県立済生会境港病院 日野郡厚生農協連日野病院 (医療) 十字会野島病院 (医療) 同愛会博愛病院 鳥取生協病院

国立大田病院 国立浜田病院島根県立中央病院 総合病院松江市立病院 雲南共存病院 島後町村立組合立隠岐病院 総合病院松江赤十字病院島根県済生会江津病院 津和野共存病院 町立広瀬病院 松江生協病院 島根医科大学病院 国療松江病院

国立岡山病院 岡山大学病院 倉敷市立児島市民病院 市立井原市民病院 岡山市立古備病院 市立備前病院 総合病院岡山赤十字病院 総合病院岡山赤十字病院玉野分院 岡山済生会総合病院 川崎医科大学附属川崎病院 (財)倉敷中央病院 総合病院津山中央病院 総合病院水島中央病院 (医療)創和会重井病院 新見中央病院 総合病院落合病院 三菱水島病院 備原病院 岡山協立病院 市立玉野市民病院 医療法人社団同仁会金光病院 (社福)旭川荘旭川児童院 河本病院 川崎医科大学病院 国療南岡山病院 重井医学研究所附属病院 (財)仁厚医学研究所児島中央病院 南くらしき病院 (医療)誠和会倉敷記念病院 川鉄水島病院 倉敷広済病院 (医療)緑十字会笠岡中央病院 (医療)清梁会戸田病院 (医法)清和会笠岡第一病院

国立呉病院 国立福山病院 国療原病院 国立大竹病院 国療広島病院 広島大学病院 広島鉄道病院 広島通信病院 県立広島病院 社保広島市民病院 戸河内町国保病院 世羅中央病院 総合病院双三中央病院 広島赤十字病院 三原赤十字病院 総合病院庄原赤十字病院 広島厚生農協連尾道総合病院 厚生連広島総合病院 広島県厚生農協連吉田総合病院 広島県厚生農協連府中総合病院 日立造船健保因島総合病院 広島記念病院 呉共済病院 中国電力株式会社中電病院 総合病院三菱三原病院 マツダ株式会社マツダ病院 福島生協病院 西条中央病院 日本鋼管福山病院 広島市立舟入病院 福山市市民病院 広島医療生協広島共立病院 広島市立安佐市民病院 中国労災病院 県立身体障害者リハビリテーションセンター 因島市医師会病院 公立学校共済組合中国中央病院多田病院 三原市医師会病院 公立みつぎ総合病院

国立下関病院 国立山口病院 山口大学病院 山口県立中央病院 下関市立中央病院 光市立病院 小野田市立病院 総合病院山口赤十字病院済生会下関総合病院 山口県厚生農協連周東総合病院 社保下関厚生病院 総合病院社保徳山中央病院 (医療)神徳会三田尻病院 国療山陽病院 徳山記念病院 都志見病院 (医療)元洋会森山病院 大島国保診療施設組合大島東部病院 国療柳井病院 光輝病院 宇部興産株式会社中央病院

徳島大学病院 徳島県立中央病院 徳島県立三好病院 徳島市民病院 町立半田病院 小松島赤十字病院 徳島県厚生農協連阿南共栄病院 厚生連麻植協同病院 阿南医師会中央病院 木下病院 国療東徳島病院 徳島県立海部病院 (医療)修誠会古野川病院 阿波病院 博愛内科病院

国立善通寺病院 香川県立中央病院 香川町国保香川病院 総合病院坂出市立病院 公立三豊総合病院 国保永康病院 高松赤十字病院 屋島総合病院 滝宮総合病院 社保栗林病院 高松病院 総合病院坂出回生病院 高松市民病院 国療香川小児病院 香川県済生会病院 香川県立白鳥病院 香川医科大学病院

国立病院四国がんセンター 国療愛媛病院 愛媛県立中央病院 県立北宇和病院 愛媛県立南宇和病院 市立八幡浜総合病院 市立宇和島病院町立吉田総合病院 総合病院松山赤十字病院 住友別子病院 (財法)積善会附属十全総合病院 (医療)更生会村上病院 愛媛大学病院 (医療)愛寿会西条愛寿会病院 周薬病院企業団公立周桑病院 総合病院松山市民病院 愛媛県立新居浜病院 まなべ病院 社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院

国立高知病院 高知県立中央病院 仁淀地区国保総合病院 高知市立市民病院 土佐市立土佐市民病院 佐川町立高北国保病院 高知赤十字病院 高知県農協総合病院 (医療)日新高院病院 (医療)南江会千里荘病院 高知県立西南病院 (医療)仁生会細木病院 (医療)新松田会愛宕病院 井上病院 (社)土佐希望の家 (医療)仁生会三愛病院 香長中央病院 高知医科大学病院 国療東高知病院 (医療)高田会高知記念病院

国立小倉病院 国立福岡中央病院 国療南福岡病院 国療福岡東病院 国立久留米病院 九州大学病院 福岡通信病院 北九州市立門司病院 北九州市立若松病院 北九州市立八幡病院 北九州市立戸畑病院 大牟田市立病院 町立瀬田病院 田川市立病院 筑後市立病院 八女公立病院福岡赤十字病院 筑前山田赤十字病院 福岡県済生会福岡総合病院 福岡県済生会大牟田病院 九州厚生年金病院 浜の町病院 公立学校共済九州中央病院 福岡鳥飼病院 (医療)雪の聖母会聖マリア病院 久留米大学病院 八幡製鉄所病院 三井三池鉱業所病院 飯塚病院 社保小倉記念病院 官部病院 九州労災病院 国公共済連早干病院 北九州中央病院 (医療)恵光会原病院 森本病院 国立病院九州がんセンター 陸上自衛隊福岡地区病院 (医療)松口病院 鞍手町立病院 (医療)正信会水戸病院 芦屋中央病院 産業医科大学病院 福岡大学病院 三野野病院 北九州総会病院 福岡市立こども病院感染症センター 米の山病院 岡部病院 共立病院 (医療)弘医会太刀洗病院 丸山病院 財団法人健和会大手町病院 小倉東病院 牧山中央病院 川崎町立病院

国立佐賀病院 国立嬉野病院 伊万里市立市民病院 西有田共立病院 唐津赤十字病院 社保佐賀病院 西田病院 国療東佐賀病院 国立肥前療養所 佐賀医科大学病院 鹿毛病院

国公共済連佐世保共済病院 国立長崎中央病院 国療川棚病院 長崎大学病院 長崎市立市民病院 佐世保市立総合病院 大村市立病院 北松中央病院 五島中央病院 杵岐公立病院 健保諫早総合病院 長崎記念病院 三菱重工業長崎造船所病院 大久保第一病院 日本赤十字社長崎原爆病院 井上病院 国療長崎病院 重症心障児施設むつみの家 (医療)十全会江迎病院 長崎県済生会病院 日浦病院 みさかえ園あゆみの家 (医療)長愛会菊地病院 国立対馬病院 長崎県離島医療圏組合厳原病院 医療法人保善会田上病院

国立熊本病院 国療再春荘病院 熊本通信病院 陸上自衛隊熊本地区病院 市立熊本市民病院 阿蘇中央病院 小国公立病院 益城中央病院 球磨郡公立多良木病院 上天草総合病院 国保河浦町立病院 熊本赤十字病院 健保八代総合病院 健保人吉総合病院 国公共済連総合病院熊本中央病院 (医療)加来会慶徳加来病院 牛深市民病院 (医療)九州記念病院 (社福)芦北学園 (医療)天草病院 熊本市医師会熊本地域医療センター 植木町国保植木病院 国療菊地病院 阿蘇温泉病院 (医療)坂本病院 中央町温石病院 (医療)丸田会丸田病院 (社福)慈永会まじゅう学園

国立別府病院 国療西別府病院 国立中津病院 大分県立病院 東国東地区国保総合病院 山香町国保山香病院 佐賀製鉄所病院 緒方町国保総合病院 大分医科大学病院 大分健生病院 健保南海病院 (医療)慈恵会西田病院

国立都城病院 県立宮崎病院 県立延岡病院 三股町国保病院 小林市立市民病院 高千穂町立病院 串間市国保病院 旭化成健保組合病院 国療宮崎病院 宮崎大学病院 宮崎市郡医師会病院

国立南九州中央病院 国立指宿病院 鹿児島大学病院 県立鹿屋病院 鹿児島市立病院 枕崎市立病院 出水市立病院 県立大島病院 中央病院国療南九州病院 (医療)青仁会池田病院 鹿児島生協病院 (社福)やまびこ整肢学園 (社福)恩賜財団済生会川内病院 国療阿久根病院鹿児島市医師会病院 鹿児島県立薩南病院 市比野温泉病院 医療法人吉祥会吉井中央病院 県立北薩病院 曾於郡医師会立病院

県立名護病院 沖縄赤十字病院 琉球大学病院 沖縄県立官古病院 沖縄県立那覇病院 県立八重山病院 沖縄協同病院 牧港中央病院 (医療)敬愛会中頭病院 那覇市立病院 沖縄県立南部病院 (医療)仁愛会浦添総合病院 (医療)沖縄徳洲会南部徳洲会病院

第3回国際川崎病シンポジウム

The 3rd International Kawasaki Disease Symposium

(開催のご案内)

1. 趣 旨

4才児未満の乳幼児を襲う”謎の病気”川崎病は、最初に日本で発見されて以来25年、3年周期に流行を繰り返しながら韓国、米国、西独等にも患者が増えてきております。

これまで2回、アメリカで開かれた川崎病の国際シンポジウムをわが国で開催し、世界中の川崎病研究者が一堂に会して、川崎病の原因解明と、治療法や管理法の確立に貢献したいと思っております。

2. 会 期 1988年11月29日(火)～12月2日(金)

3. 会 場 経団連会館
(東京都千代田区大手町1-9-4)

4. 主 催 第3回国際川崎病シンポジウム組織委員会
財団法人日本心臓財団
American Heart Association
川崎病研究会

5. 公用語 英語、日本語

6. 組織委員会

会 長 川崎富作 日赤医療センター小児科部長
(委員は日米より10名程度を予定)

7. 事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル603区
財団法人 日本心臓財団
電話 (03)201-4705

(情報の必要な方は事務局までご連絡ください。)

川崎病に愛の手を!!



一口千円の国民募金にご協力下さい

- ♡ 募金金額 ♡ 一口千円
- ♡ 募金期間 ♡ 昭和61年7月1日～63年12月31日
- ♡ 募金先口座 ♡ [口座名] 川崎病原因究明委員会
[郵便振替] 東京 7-8510
- ♡ 免税措置 ♡ 領収書は、郵便局の発行する受領書をもって代えさせていただきますのでご了承下さい。ご寄付いただいた方のご芳名は日本心臓財団の健康ハート新聞で報告させていただきます。なお、一万円以上のご寄付の場合税法上の免税措置が受けられますのでご一報下さい。
- ♡ お問い合わせ ♡

財団法人 日本心臓財団・川崎病原因究明委員会
〒100 東京都千代田区丸の内2-4 丸ビル603区 ☎03-201-4705

- ♡ 川崎病の子供を持つ親のみならず、正しい情報交換を通して子供たちに明るいすこやかな未来を。
- ♡ 川崎病にかかったら、急性期にエコー検査を受けましょう。
- ♡ 退院後も心臓の定期検診を受け続けるようにしましょう。
- ♡ どうぞお気軽にお問い合わせ、ご入会下さい。

川崎病の子供をもつ親の会

代表 浅井 満
〒181 東京都三鷹市井口74 バイオレット館
☎0422-31-7087

